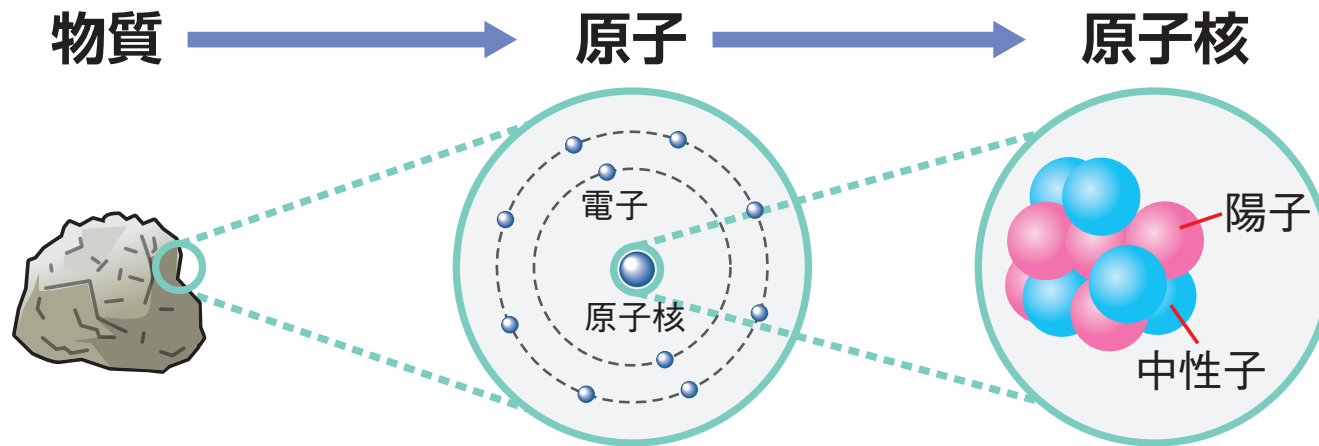
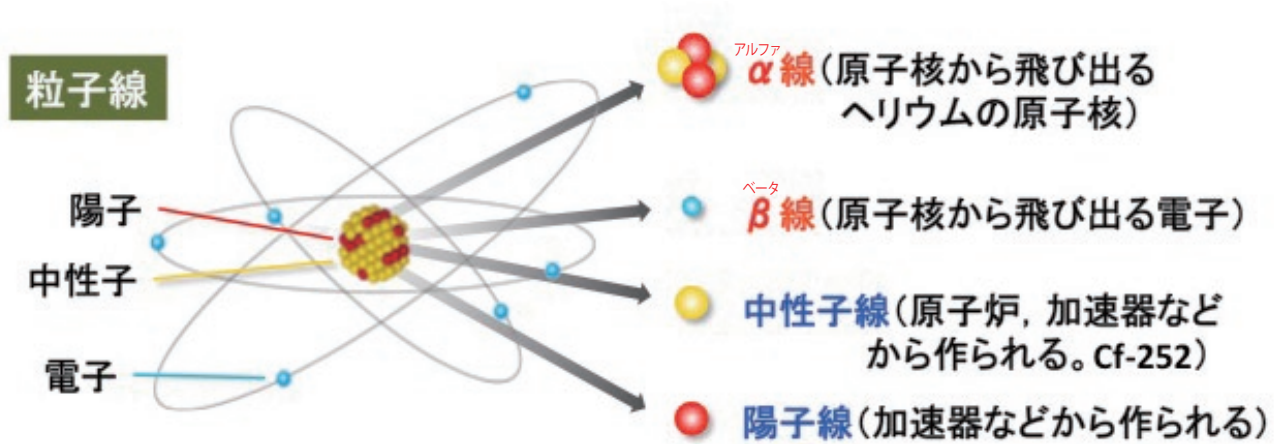


《原子と原子核》

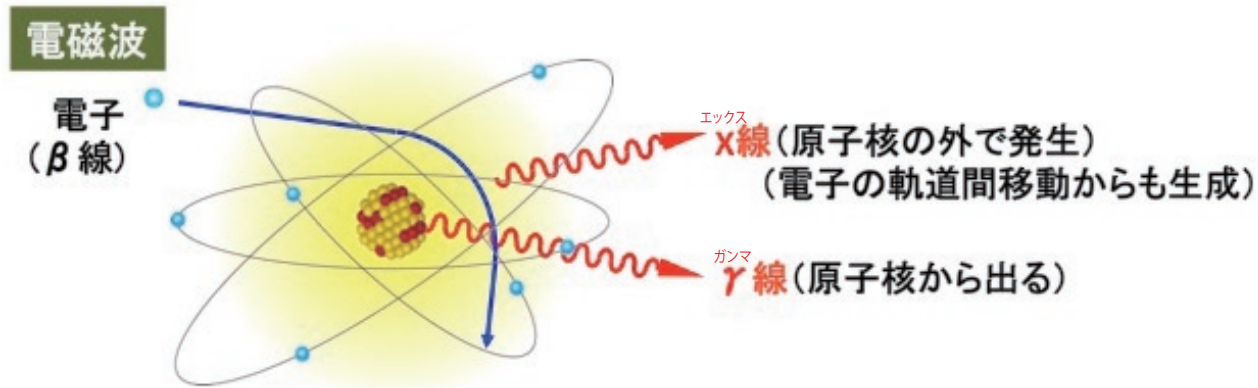


《小さな粒子が高速で飛ぶ放射線》



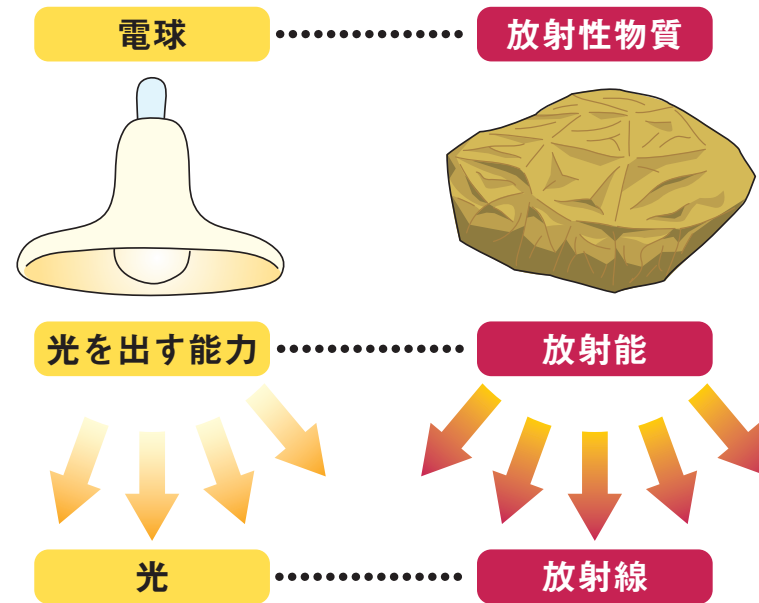
出典：放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料
平成 24 年度版 ver.2012001
(掲載ページ：中学生・高校生用 P.9)

《波のように伝わる放射線》

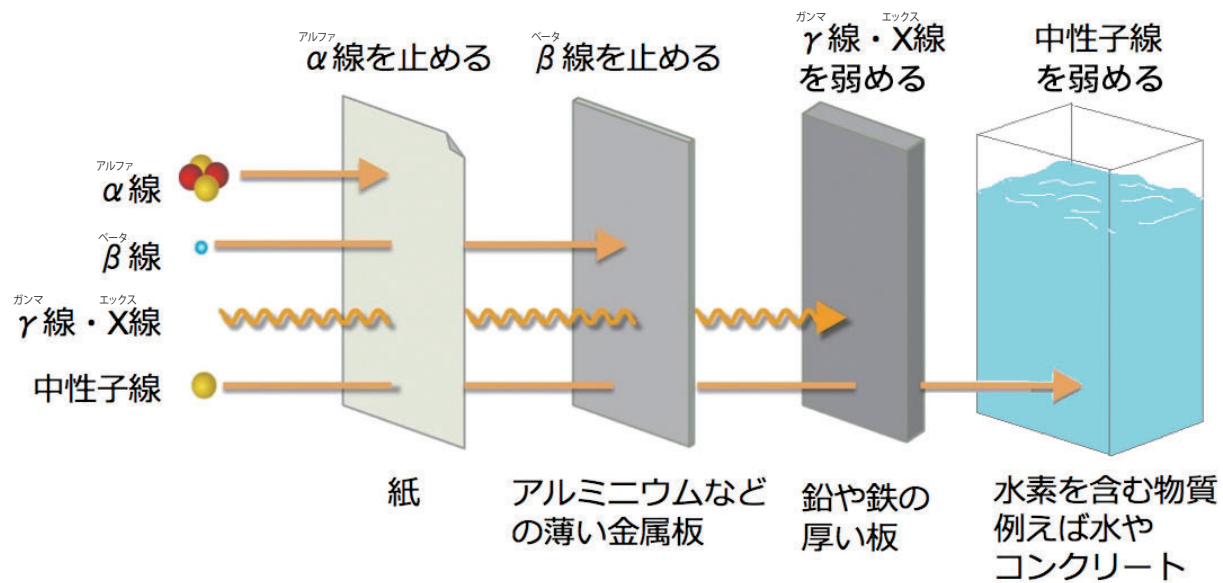


出典：放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料
平成 24 年度版 ver.2012001
(掲載ページ：中学生・高校生用 P.9)

《放射性物質と放射能、放射線》

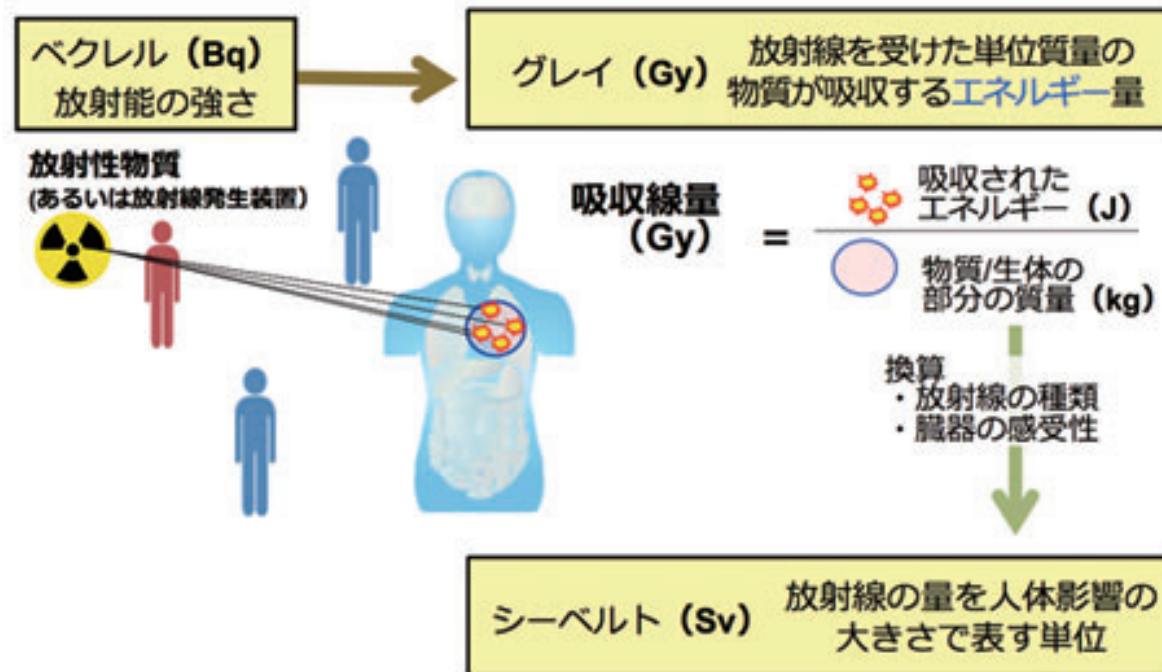


《放射線 放射線の透過力》



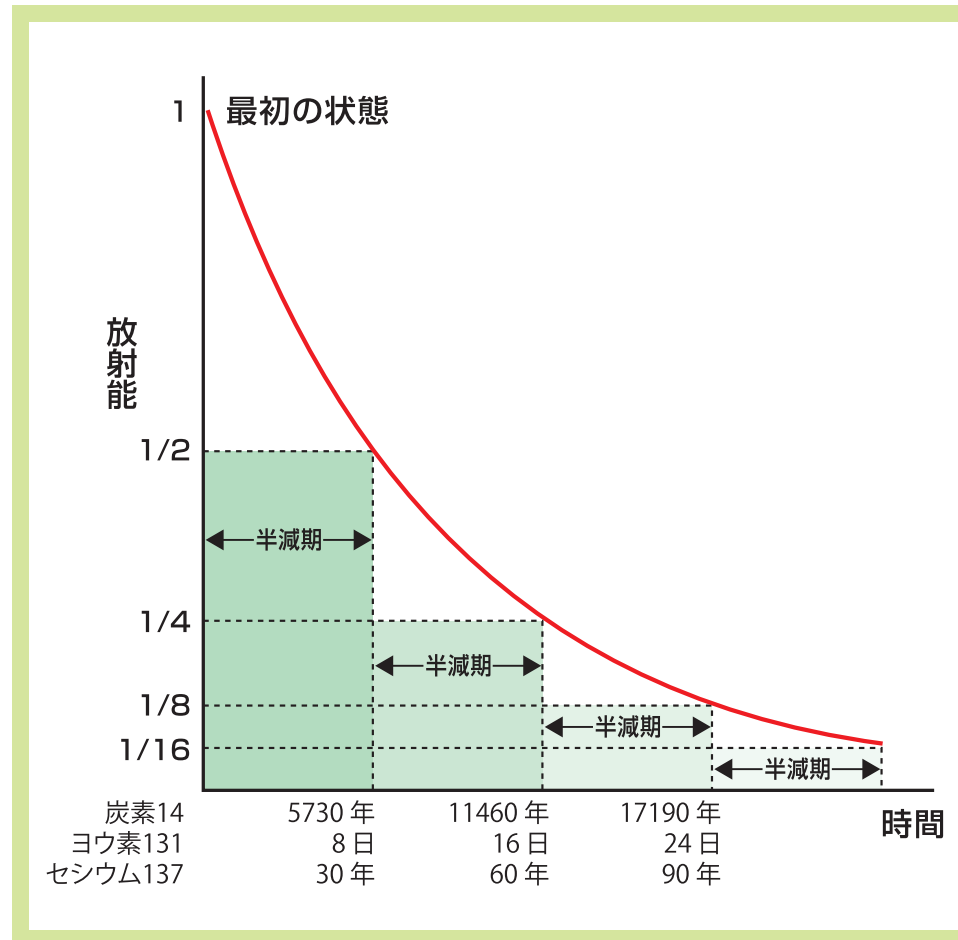
出典：放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料
平成 24 年度版 ver.2012001
(掲載ページ：中学生・高校生用 P.10)

《放射線の単位 単位間の関係》

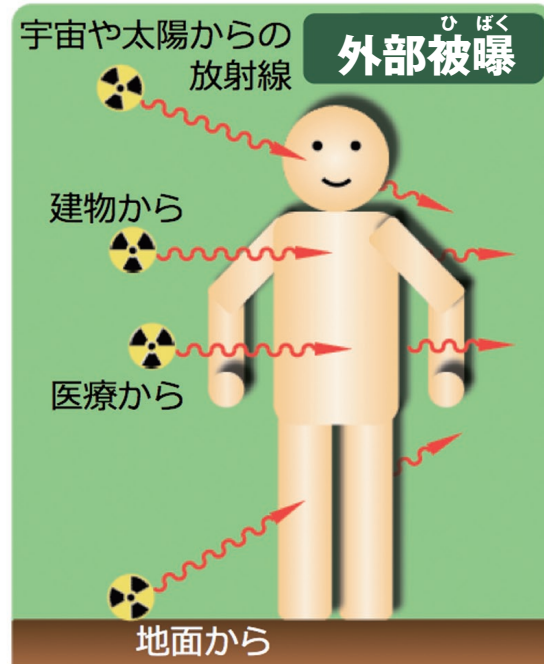


出典：放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料
平成 24 年度版 ver.2012001
(掲載ページ：中学生・高校生用 P.10)

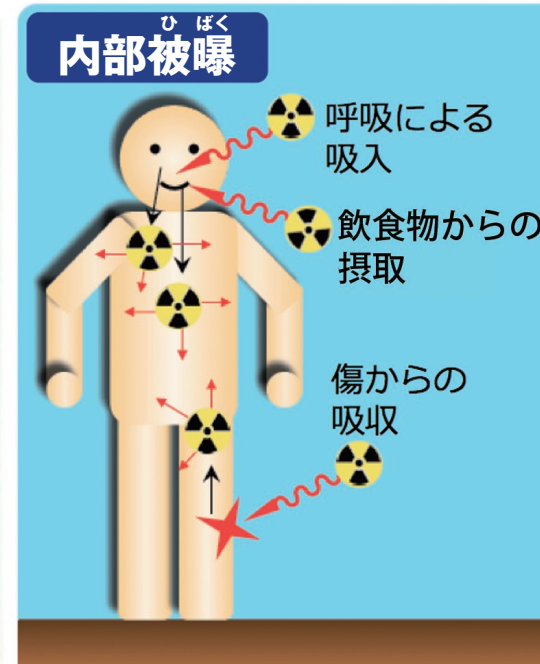
《放射性物質の半減期》



《被曝の経路 外部被曝と内部被曝》



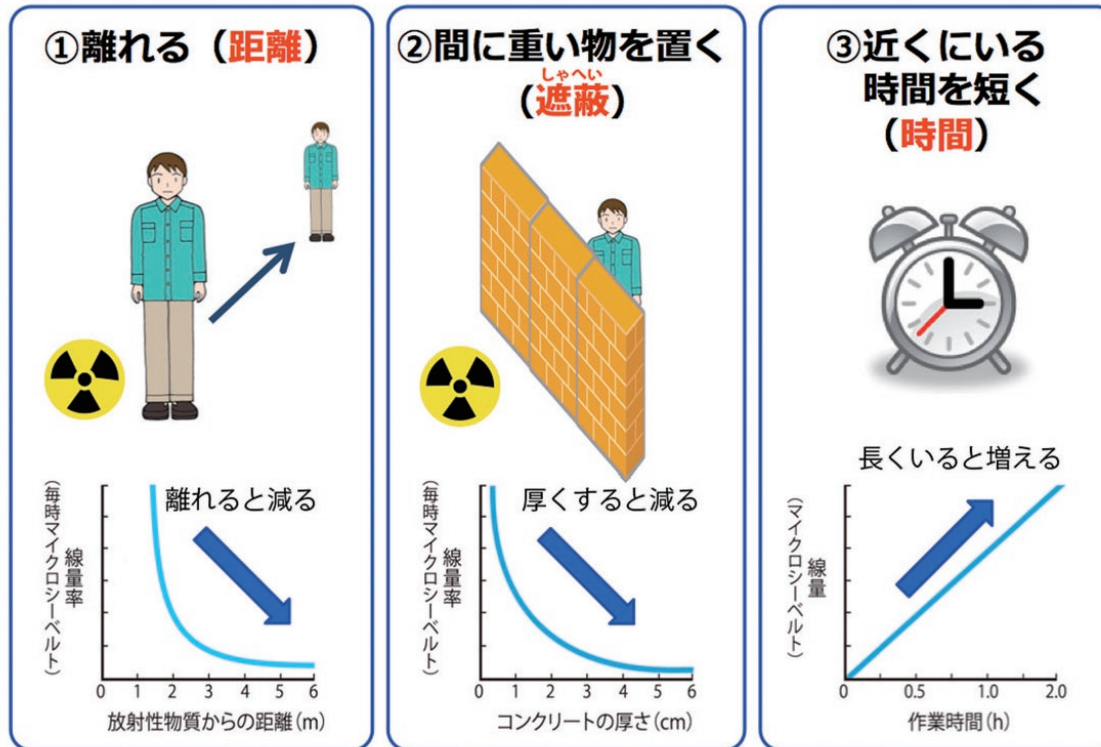
▶放射線源が体外にある。



▶放射線源が体内にある。

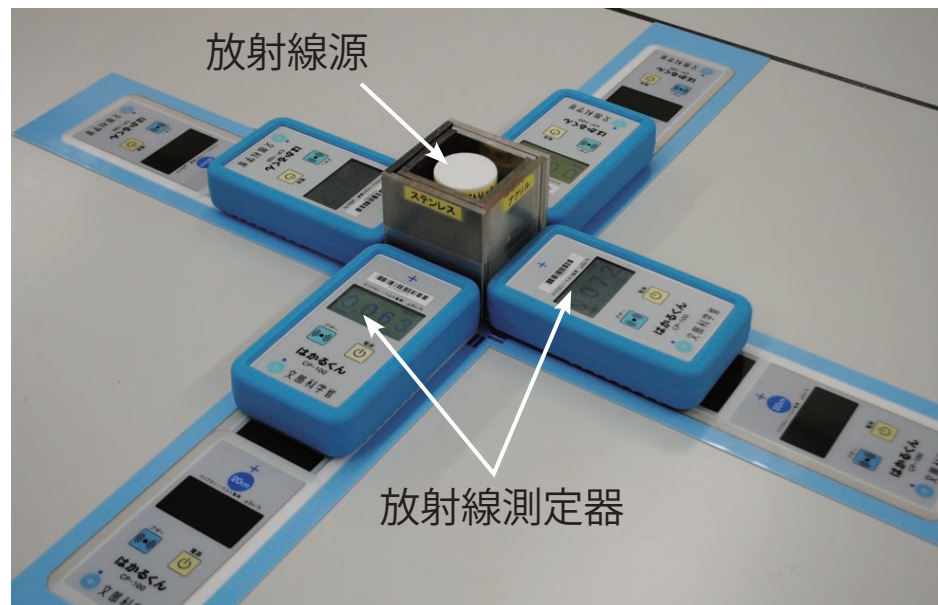
出典：放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料
平成 24 年度版 ver.2012001
(掲載ページ：中学生・高校生用 P.11)

《線量低減 外部被曝^{ばく}の低減三原則》



出典：放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料
平成 24 年度版 ver.2012001
(掲載ページ：中学生・高校生用 P.11)

《放射線源と測定器のセットによる実験》



《遮蔽用エプロン》

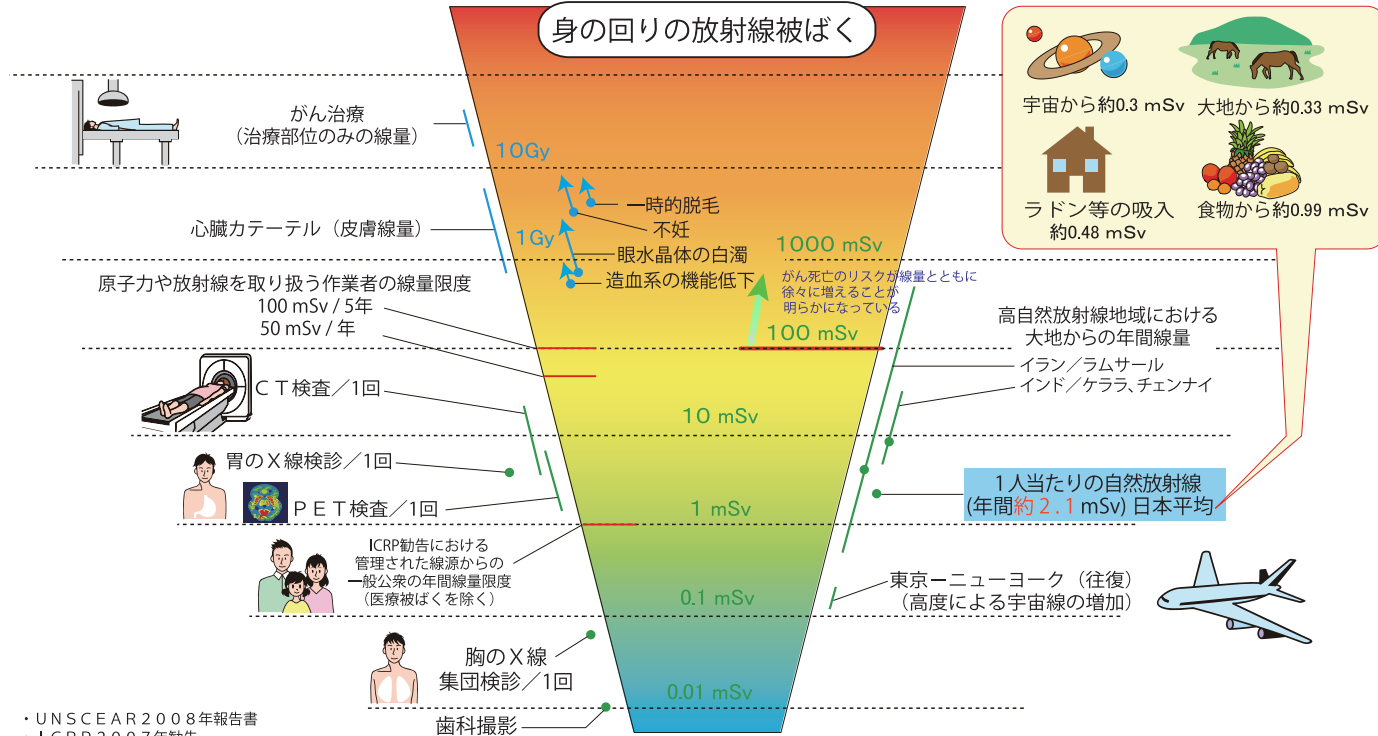


写真提供：アマナイメーヅ
(掲載ページ：中学生・高校生用 P.11)

《放射線被ばくの早見図》

人工放射線

自然放射線



・ UNSCEAR 2008 年報告書
 ・ ICRP 2007 年勧告
 ・ 日本放射線技師会医療被ばくガイドライン
 ・ 新版 生活環境放射線 (国民線量の算定)
 などにより、放医研が作成(2013年5月)

【ご注意】
 1) 数値は有効数字などを考慮した概数です。
 2) 目盛 (点線) は対数表示になっています。目盛がひとつ上がる度に10倍となります。
 3) この図は、引用している情報が更新された場合変更される場合があります。

【線量の単位】
 各臓器・組織における吸収線量: Gy (グレイ)
 放射線から臓器・組織の各部位において単位重量あたりにどれだけのエネルギーを受けたのかを表す物理的な量。
 実効線量: mSv (ミリシーベルト)
 臓器・組織の各部位で受けた線量を、がんや遺伝性影響の感受性について重み付けをして全身で足し合わせた量で、放射線防護に用いる線量。
 各部位に均等に、ガンマ線 1 Gy の吸収線量を全身に受けた場合、実効線量で1000 mSvに相当する。

独立行政法人 **NIRS**
 放射線医学総合研究所
<http://www.nirs.go.jp>
 Ver.130502

《非常時における放射性物質に対する防護》



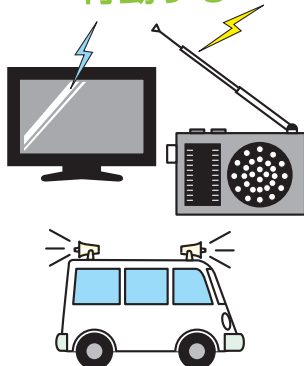

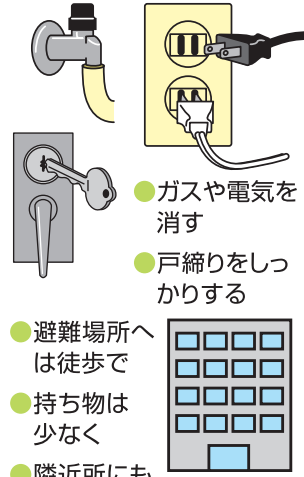
空気を直接吸込まない（マスクやハンカチで口をふさぎます）



食品に含まれる放射性物質の量に気を付ける

《退避・避難する時の注意点》

退避・避難する時の注意点

正確な情報を基に行動する	屋内退避	避難
 <ul style="list-style-type: none">● 一斉放送、広報車、ラジオ、防災無線など	 <ul style="list-style-type: none">● ドアや窓を閉める● エアコン(外気導入型)や換気扇の使用を控える● 外から帰って来たら顔や手を洗う● 木造家屋より遮蔽効果が高いコンクリートの建物への退避指示が行われることもある● 食器に蓋をしたりラップを掛けたりする	 <ul style="list-style-type: none">● ガスや電気を消す● 戸締りをしっかりする● 避難場所へは徒歩で● 持ち物は少なく● 隣近所にも知らせる

退避と避難は、どちらも放射性物質から身を守ることであり、「退避」は家や指定された建物の中に入ること、「避難」は家や指定された建物などからも離れて別の場所に移ることです。